

# 新・東の風

令和2年度  
7月号

6月1日から分散登校が始まり、15日から通常授業が再開されておよそ1ヶ月が過ぎました。クラブ活動も新入生を正式にむかえ、また7月11日（土）からは対外試合も出来るようになります。ようやく学校らしさが戻ってきた感じがして、校長として大変喜んでいます。

しかし、完全にコロナウィルス感染症は終わったわけではありません。予防薬としてのワクチンがまだ出来ていない状況なので、これからも一人ひとりが「新しい生活様式」を意識して基本的な感染対策を行ってください。

感染防止の3つの基本（①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い）をしっかりと守ってください。

さて、通常授業が始まったときに何人かの生徒に「学校が再開して嬉しいか？」と質問をしてみました。すると全員が「嬉しい」、「楽しい」と笑顔で答えてくれました。校長先生も同じ意見です。みんなが楽しい学校とは、どのような学校なのでしょう。新しい生活様式での学校生活を送るにあたり考えてみました。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」で始まる著書『学問のすすめ』。また、一万円札でおなじみの福沢諭吉。ご承知のとおり、江戸時代の幕末から明治時代にかけて活躍した人物です。東京にある有名な慶應義塾大学を作った人としても知られています。その彼が、慶應義塾を作ったときに、生徒に伝えた言葉を皆さんに紹介します。

- 「学校で一番楽しいことは、好きな教科を持つことである。
- 学校で一番さみしいことは、注意してくれる友だちのいないことである。
- 学校で一番みじめなことは、規則を破っても気にならないことである。

学校で一番醜いことは、授業の邪魔をすることである。

学校で一番美しいことは、落ちているゴミを拾うことである。」



みなさんはどのように感じましたか。感じ方に正解はないのですが、誰もが豊かな学校生活を送ることを望むならば参考にしてみればどうでしょうか。

7月16～17日、期末テストが予定されています。4、5月と授業がなかったため、今年度初めての定期テストです。もちろん1年生にとっては中学校生活で最初の定期テストです。よく「スタートダッシュ」が肝心と言われているので、計画を立ててしっかりと取り組みましょう。

もちろん2年生、3年生も同じですよ。特に3年生は！